



ひろまちだより

Hiromachi Ryokuchi Park in City of Kamakura



2020
12
December

contents

特集	ヤマアカガエル
連載	樹木区日誌
催事	冬のイベント etc
ほか	コロナ対応

春を知らせる卵です



厚く水が張った真冬のたんぼ(上)湿地に飛来したチュウサギ(左下)早春から花をつけるオオイヌノフグリ(右下)



水を吸ってふくらんだヤマアカガエルの卵塊

ひろまちだより 2020年12月号

発行 鎌倉広町パートナーズ

鎌倉広町緑地管理事務所

鎌倉市津 1133 TEL : 0467-32-5112

<http://www.kamakurahiromachi.com/>



デザイン・編集 向田智也



アカガエルのなかまは区別が難しいものが多い。
よく似たニホンアカガエルよりもやや山地に多く見られ、
背中の中にあるすじ（背側線）がこまかく後ろで外側に曲がるのが特徴。



池や田んぼに氷が張る早春に産卵するヤマアカガエル

Frog spawning in early spring

鎌倉広町緑地で観察できる5種類のカエルのうち、真冬にいち早く活動をはじめるのがヤマアカガエルです。1月から2月（地域によっては6月）にかけて、池や田んぼにビー玉が寄せ集まったような卵塊を産みます。ふだんは森の中にくらし、産卵は夜に行われることが多いので、なかなか親ガエルをみかけることはありません。



梅雨時に田んぼから上陸した幼生

刻々と変化する卵塊を観察しよう



卵から孵化するおたまじゃくし

産み出されたばかりの黒っぽく小さな卵塊は、水を吸うにつれて2倍から3倍にふくらみ、美しい透明の玉のようになります。その後、時間がたつにつれ、周囲の環境と同化するように苔むしたような色に変化します。



メスの背中にのるオス

ウッディぴろしの樹木匠日誌



Vol.7
スダジイ
(フナ科)

シイノキという名前で親しまれているスダジイは、広町緑地では七里ガ浜～鎌倉山の入口の園路にかけて広く樹林を形成しています。一年中葉をつける常緑樹であり葉の色も濃いため、スダジイの下はとても暗くなっています。タブノキと並んでこの二つを合わせて「シータブ林」と植物生態学的には呼ぶこともあり、鎌倉あたりでは手入れをしていない山はいずれこれらの樹木におおわれます。どんぐりはアクが少なく、そのまま食べられるため昔は貴重な食糧でした。



うっそうとしたシイノキのまとまり



葉の裏は黄色っぽい

イベント情報 鎌倉広町緑地でのイベントは新型コロナ感染防止に努めながら実施しています。屋内での実施は定員を減らし、屋外でも3密を避けて行います。感染拡大など状況が悪化した場合中止になる可能性もありますので、ホームページ等で直近の情報をご確認ください。



そば打ち教室

- 1月23日(土) 9:30~11:30 冬の野鳥観察会 (200円、定員無し) 広町緑地
- 2月20日(土) 13:00~16:00 そば打ち教室 (500円、予約制) 腰越学習センター
- 3月20日(土) 9:30~11:30 大桜鑑賞会 (200円、定員無し) 広町緑地

管理事務所よりお知らせ 鎌倉広町緑地は年末年始も閉園しております。管理事務所(トイレ設置)は8:30から17:15まで利用できます。園内でもマスクの着用、間隔をあけての会話、飲食時の感染防止等にご協力ください。